

第142回小金井市新型コロナウイルス感染症対策本部部会会議録	日時	令和4年10月4日(火) 9:30~9:40	場所	議場
出席者	西岡市長、小澤副市長、大熊教育長、天野企画財政部長、藤本庁舎建設等担当部長、加藤総務部長、西田市民部長、柿崎環境部長、中谷福祉保健部長、大澤子ども家庭部長、若藤都市整備部長、大津学校教育部長、梅原生涯学習部長、北村議会事務局長、堤企画政策課長、石原健康課長、佐々井新型コロナウイルス感染症対策担当課長、廣田広報秘書課長、宮奈地域安全課長、宮腰地域安全係長			
付議事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 新型コロナウイルスワクチン接種について 2 新型コロナウイルス感染症への対応について 3 各部連絡事項 			
資料	<ol style="list-style-type: none"> 1 新型コロナウイルスワクチン接種について 2 新型コロナウイルス感染症対策における連携した取組について 3 新型コロナウイルス感染症の発生届限定化に伴う陽性者の情報提供の対応について 			
<p>(進行：福祉保健部長)</p> <p>(市長)</p> <p>・ワクチン接種については、オミクロン株対応ワクチン、ノババックスの活用等、複雑なスキームとなるため、関係者との緊密な連携をとり、安心安全なワクチン接種を進めてまいりたい。</p> <p>1 新型コロナウイルスワクチン接種について (新型コロナウイルス感染症対策担当課長)</p> <p>・資料1をもとに説明。</p> <p>・接種状況は資料のとおり。</p> <p>・旧西友での接種については10月12日から12月末までの水、木、土、日で実施予定とし、週最大5,000回程度の接種体制としている。医療機関での個別接種は、10月31日からとし、参加医療機関は43医療機関(自院患者等のみ実施の8医療機関含む)となっている。</p> <p>・小金井市で使用し又は使用予定のワクチンについては資料のとおり。課題としては、BA.1とBA.4/5のワクチンに関する広報だと考えている。市民に対してしっかり周知していきたい。</p> <p>・先週、総務部長より「12歳~59歳の4回目未接種者への接種券発送時期については、各市同じくらいの時期と考えてよいのか。各職場において、副反応により、勤務の調整等、影響があるのか見定める参考となりうるので確認したい。」とのご質問をいただいたが、厚生労働省によると、薬事承認においては、ファイザー及びモデルナともに、従来型のワクチンと概ね同様の症状とされているため、現時点においては職員のワクチン接種についても従</p>				

来どおりの対応としていただきたい。

2 新型コロナウイルス感染症への対応について

(健康課長)

- ・資料2、3、4について説明。
- ・資料2「新型コロナウイルス感染症対策における連携した取組について」は、毎月、東京都から、広報車や防災無線による広報の依頼があったが、9月末をもって終了したものである。
- ・資料3「新型コロナウイルス感染症の発生届限定化に伴う陽性者の情報提供の対応について」は、これまで東京都から、毎日、自宅療養者の情報が提供されていたが、発生届限定化に伴って、情報提供の方法等が変更されたものである。詳細は資料のとおり。
- ・新型コロナウイルス感染症対策に係る関係者連絡会は、毎月、保健所、圏域の医師会、圏域の医療機関、行政で行っている連絡会である。患者の発生数は落ちてきている。今冬の感染拡大に向けた都の方針については、感染拡大を想定し、一定の体制を確保するとのことである。
- ・発生届限定化に伴って、医療機関、各市医師会等での混乱はないとのことである。業務負担は軽減しているが、発生届限定化によるものなのか発生件数自体が落ち着いてきていることによるのかの評価はまだできないとのことであった。

3 各部連絡事項

(福祉保健部長)

- ・大規模接種会場の運営について、これまで管理職2名体制としていたが、今回から福祉会館担当課長にも対応してもらうこととした。また、先月は自立生活支援課から1名、今月は介護福祉課から1名の応援職員を派遣しているが、今後、人員が必要なる場合は、各部から応援職員をお願いしたい。管理職の体制についても3名体制としたが、体調不良等があった場合に対応するため、福祉保健部内の他の管理職で対応できるよう準備を行っていききたい。

(以上)